

7月期の台風に対する農作物被害防止に向けた技術対策

令和5年（2023年）7月5日
山口県農林水産部

1 水稻

事前対策	事後対策
<p>1 迅速な入排水ができるように、入排水口や水路などの点検・整備を行う。畦畔の点検・補修など漏水対策を行い、湛水状態が保てる状態にする。</p> <p>2 強風による植え傷みや脱水症等の風害を防ぐために、冠水しない程度の深水状態で管理する。</p> <p>※ <u>湛水管理については水利状況に応じ、可能な限り対応すること。</u></p>	<p>1 台風通過後は通常の水管理に戻す。</p> <p>2 潮風害が発生した場合は、速やかに洗い流す。</p> <p>3 干拓地等で海水流入が生じた場合は速やかに排水し、清水を入れ、かけ流しを行う。</p>

2 大豆

事前対策	事後対策
<p>1 迅速な入排水ができるよう、入排水口や水路などの点検・清掃を行う。</p> <p>2 畦立溝の着実な連結や排水口への連結を行い、ほ場外排水の円滑化を図る。</p>	<p>1 台風通過後は速やかな排水に努める。</p> <p>2 発芽前に冠水し、発芽障害を受けた場合は、播き直しを行う。</p>

3 施設野菜・施設花き・施設果樹

事前対策	事後対策
<p>1 防風ネットの点検・補強を行う。</p> <p>2 ハウスの点検・補強を行う。</p> <p>(1) ハウスバンドの締め直し、両妻面の補強</p> <p>(2) サイドビニール、天井ビニールの点検、修繕</p> <p>(3) 筋交い、補強支柱の取り付け</p> <p>3 換気扇があれば、ハウス内を減圧する</p> <p>4 施設周辺の片づけを行う。</p> <p>5 停電に備え、発電機などの確保、準備をしておく。</p> <p>6 進路や風の強さなど、今後の気象情報に注意し、必要に応じて被覆の除去を行う。</p>	<p>1 施設各部の破損、緩みなどを点検し、補修する。</p> <p>2 病害の予防防除を行う。</p> <p>3 施設が浸水した場合は、速やかな排水に努める。</p> <p>4 畝が冠水した場合は、マルチ等を除去し、土壌を乾燥させる。</p>

4 露地野菜・露地花き

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none"> 1 防風ネット・支柱、フラワーネットの点検、補強を行う。 2 収穫期の果実・花きの若どりを行う。 3 苗床（イチゴ等）、定植直後の本ぽではべた掛け資材による被覆を行い、固定する。 4 潮風害に備え、用水の確保と動力噴霧機の準備を行う。 5 畦立溝の着実な連結や排水口への連結を行うなどの排水対策を実施する。 6 定植、間引き作業を延期する。 7 リンドウの遮光資材を一時的に撤去する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 支柱の立て直し、倒伏した株の引き起こしを行う。 2 傷果・葉、破損枝を除去する。 3 播種直後や生育初期のものは、被害状況により播き直しを行う。 4 根部が冠水していない場合は、草勢回復のため液肥を葉面散布する。 5 冠水した場合は、ほ場外への排水を早急に実施し、土壌を乾かすようにする。 6 病害（特に軟腐病等の細菌病）の予防防除を行う。 7 はね上がりで、葉裏等に泥が付着している場合はよく洗い流す。 8 潮風被害後、速やかに散水する。

5 露地果樹

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none"> 1 防風ネット、果樹棚、マルチなどの点検、補強を行う。 2 潮風害に備え、用水の確保、動力噴霧機の準備、動力源の確保に努める。 3 幼木や高接ぎ樹の支柱を点検し、補強する。 4 収穫期に近づいているものは、状況によって早期収穫を行う。 5 病害の事前予防散布（カンキツかいよう病などの細菌病）を行う。 6 排水路の点検等を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 潮風被害樹へ速やかに散水を行う。 2 枝折れ除去、倒伏木の引き起こし処置を行う。 3 断根樹に対する速やかな灌水、敷き草を実施する。 4 停滞水のほ場外への排水を図る。 5 病害（特に細菌病）の予防防除を行う 6 施設各部の破損、緩みなどの点検・補修を行う。

6 畜産

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none"> 1 畜舎や堆肥舎は、風雨に対する補強と周辺水路の整備を行う。 2 搾乳施設や自動換気装置等は、停電に対応できるよう発電機の準備を行う。 3 飼料畑は、排水路の点検、整備を行い速やかな排水ができるようにする。 4 断水の可能性がある場合は、最小限の飲水量を確保する。 5 家畜ふん尿の流出防止のため、堆積場の移動等の対応を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 畜舎や堆肥舎が浸水した場合は、通風換気などにより乾燥を促進する。 2 畜舎消毒等による疾病の発生予防を行う。 3 収穫適期頃の牧草類などは、天候の回復状況を見て適期に収穫する。 4 飼料畑は、速やかに排水を行う。